



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.17

### ■ 大雪（たいせつ）号（2012年12月7日発行）

寒くなりました。節気は大雪。東京の街路樹にはまだ黄葉していないイチョウもあるというのに、季節はどんどん冬へと移っていきます。フェイスブック「ともいきぐらし」の写真は、「かえでの木」です。1年を通して節気ごとに一本のかえでを定点撮影したもので、節気が変わるごとに姿が変化していく様子を見ることができます。もう12月。かえでのある長野県池田町には、雪がしんと降っていることでしょう。

12月8日は「針供養」。古い針や折れた針を豆腐やこんにゃく、餅などにさして神社におさめて供養したり、川へ流したりする行事です。裁縫の上達や怪我のないようにと願います。裁縫には欠かせない『針』という『道具』に感謝する気持ちが、日本人らしくて素晴らしいと思います。家庭科の先生には、ぜひ子どもたちに「針供養」という行事があることを話してもらいたいものです。（詳細はともいき暦を）

さて先日、東京港から船に乗り、ナイトクルーズを楽しみました。幸い波も静かで、おいしい食事をいただいたあと、船のデッキで夜景を堪能しました。川崎の工業地帯、羽田空港に発着する飛行機の光。東京ディズニーランドの花火。照明で縁取りされたゲイトブリッジ、レインボウブリッジ。遠くにぼおっと見えるスカイツリー。温かく美しい光を放っていた東京タワー。そしてなんととっても一番見とれたのは、夜空の星とお月さまでした。

冬は月や星が鮮やかに見えます。「星冴ゆる」という言葉がありますが、きらきらと光を放つ星の様子は、まさに船上からみた星そのもの。また月も、「月冴ゆる」という言葉のように、まるで鏡のようにつややかに輝いていました。船のデッキは冷たい風が吹きつけて寒かったのですが、自然の光と人

工の光が織りなす東京の夜を満喫することができました。冬の星座はとても冴えわたっていることから「荒星（あらぼし）」とも呼ばれています。仕事からの帰り道、寒さに身を縮ませながら早足で家路を急がず、ちょっと立ち止まって背筋を伸ばし空を見上げてみてはいかがでしょうか。

せわしい 12 月。皆さま、くれぐれも体調を崩さないよう、気をつけてお過ごしください。

すとうあさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ 事務局だより

◎「ともいき便り No.16 小雪号」の筆者である朝倉勇さんにご意見が寄せられましたので、いくつかご紹介します。

①晩秋から冬に移ろいゆく麻布の風景がくっきりと目に浮かびました。

桜並木を秋のお色直しとは粋ですね。

朝倉さんの文章をよむたび、風景は心で見えるものなんだなあと感じます。

「尊厳の芸術展」も興味深いです。絶望から希望は創造できる……。

大切なことを教えられそうです。 (杉並区 Kさん)

②お住まいの近くの晩秋の自然、数え上げればたくさんあるのですね。私も自宅付近の自然を見つけてみます。

**The Art Of Gaman** について書かれた文章、大変に嬉しかったです。

「我慢のアート」は、日系人たちに継承された日本人の「物づくり」のDNAだからできたのではないか。

そして、これらは私たちに希望を語っている。私も、全く同じことを感じておりました。必ず見に行くつもりでおります。

友人たちにも伝えたところ、早速出かけて行った一人から、感激のメールが入りました。私は来週出かけてみます。 (東京、Mさん)

◎タピラスサイトのリニューアル作業がまもなく終了します。

現在、急ピッチでタピラスのサイトのリニューアルを行っています。まもなくアップしますので、お楽しみに！

◎今年もう残りが1ヶ月足らずとなりました。夏の猛暑から、秋が短く、いきなり冬が来たような季節の移ろいを感じます。

NPO PTPL の事務所がある東京都港区三田界限では、街路樹のイチョウがきれいに黄葉し、別の通りの街路樹は紅葉と、街の彩りを楽しんでいます。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：[info@plantatree.gr.jp](mailto:info@plantatree.gr.jp)